

町内各地で芋ほり

秋の味覚！ 子どもたちの芋ほり体験



10月下旬から11月上旬にかけて、町内各地で子どもたちがサツマイモの芋ほり体験を行いました。



▲10月30日、土師保育所芋ほり。

▶11月5日～7日、桂川幼稚園芋ほり。自分たちの手で一生懸命引き抜きました。中には園児の顔の大きさほどの大きな芋も。



▲11月5日、桂川東小学校1年生芋ほり。アンビチャス広場の人々の協力の下、実施。後日、アンビチャス広場には「おいもをそだててくれてありがとう」といった感想文が届きました。



▲10月23日、善来寺保育園芋ほり。6月にみんなで作った苗が立派に生長。掘り出すのは大変でしたが、大きく立派に育った芋がたくさん採れて園児たちは大喜び。

嘉穂総合高校

創立十周年記念式典・総文祭 マイコンカーラリー全国大会出場



10月18日(土)、嘉穂総合高校の創立十周年記念式典が同校の体育館で行われました。多くの来賓が訪れる中、生徒会長でロボットシステム科三年生の井上明希くんは、「将来の嘉穂総合高校生徒が、嘉穂総合高校の生徒であることを誇ることができるような伝統を作っていきたい」と、生徒代表のあいさつを述べました。

11月8日(土)には、同校の文化祭「総文祭」が開催され、同校で作られた農産物の販売や製作物の展示などが行われました。校内各所では、パソコン体験コーナーや木製プランター作成など、それぞれの科の特色を生かした取り組みが催され、多くの来場者が嘉穂総合高校の魅力を存分に体感していました。

10月26日(日)、ジャパンマイコンカーラリー福岡県大会が同校体育館で行われ、同校を含む県内高校の生徒たちが参加しました。この大会のベーシッククラスでは、同校ITシステム科の遠藤繁之くんが優勝。遠藤くんはその後の九州大会でも準優勝に輝き、来年1月10日(土)に北海道札幌市で行われる全国大会の切符を手に入れました。



▲厳かな雰囲気の中行われた創立十周年記念式典。
▶総文祭で、生徒たちの指導の下、木製プランターづくりを体験する来場者。



▼ジャパンマイコンカーラリー福岡県大会の様子。
▲マシンを手に井上町長に全国大会出場の報告をする遠藤くん(左)。

